

JIS

亜鉛地金の光電測光法による 発光分光分析方法

JIS H 1113 : 2022

(JMIA/JSA)

令和 4 年 12 月 20 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	松 橋 隆 治	東京大学
(委員)	安 部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサル タント・相談員協会
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	奥 野 麻衣子	三菱UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	木 村 一 弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	是 永 敦	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	椎 名 武 夫	千葉大学
	寺 家 克 昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	清 家 剛	東京大学
	高 辻 利 之	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	千 葉 光 一	関西学院大学
	寺 澤 富 雄	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	渡 田 滋 彦	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	中 川 梓	一般財団法人日本規格協会
	久 田 真	東北大学
	廣 瀬 道 雄	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	藤 本 浩 志	早稲田大学
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	細 谷 恵	主婦連合会
	棟 近 雅 彦	早稲田大学
	村 垣 善 浩	神戸大学
	山 内 正 剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
	山 田 陽 滋	名古屋大学
	和 辻 健 二	一般社団法人日本自動車工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 29.7.20 改正：令和 4.12.20

官 報 掲 載 日：令和 4.12.20

原 案 作 成 者：日本鋳業協会

(〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-17-11 榮葉ビル TEL 03-5280-2327)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 松橋 隆治)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 一般事項	2
5 分析値のまとめ方	2
5.1 測定回数	2
5.2 分析値の表し方	3
6 要旨	3
7 装置	3
7.1 発光分光分析装置	3
7.2 試料採取, 試料調製及び電極調製に用いる装置及び用具	3
8 試料	4
8.1 分析試料	4
8.2 検量線作成用試料	4
8.3 検量線校正用試料	4
9 試料の調製	4
9.1 一般	4
9.2 分析試料の調製	5
9.3 検量線作成用試料の調製	5
9.4 検量線校正用試料の調製	6
10 測定	6
11 検量線の作成	7
12 計算	7
附属書 JA (規定) 発光分光分析装置	9
附属書 JB (参考) JIS と対応国際規格との対比表	15
解 説	17

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本鋳業協会（JMIA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS H 1113:2014** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

亜鉛地金の光電測光法による発光分光分析方法

Method for photoelectric emission spectrochemical analysis of zinc metal

序文

この規格は、2005年に第1版として発行されたISO 3815-1を基とし、我が国の市場の実態に整合させるため、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で、附属書JAは、対応国際規格にはない事項である。また、側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。技術的差異の一覧表にその説明を付けて、附属書JBに示す。

1 適用範囲

この規格は、JIS H 2107に規定する亜鉛地金の光電測光法による発光分光分析方法について規定する。

なお、表1に示す各元素の定量に適用する。

表1—定量元素及び定量範囲

定量元素	単位 % (質量分率)
鉛	0.000 1 以上 2.0 以下
鉄	0.000 1 以上 0.3 以下
カドミウム	0.000 1 以上 1.0 以下
すず	0.000 1 以上 0.002 以下
銅	0.000 1 以上 0.01 以下
アルミニウム	0.000 1 以上 0.04 以下

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 3815-1:2005, Zinc and zinc alloys—Part 1: Analysis of solid samples by optical emission spectrometry (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS H 0301 非鉄金属地金のサンプリング、試料調製及び分析検査通則

注記1 対応国際規格における引用規格：ISO 20081, Zinc and zinc alloys—Method of sampling—